

平成 20 年 12 月 8 日

(社)日本物流団体連合会

第 10 回「物流環境大賞」の公募について (応募受付中)

社団法人日本物流団体連合会(会長 岡部正彦)は、第 10 回「物流環境大賞」の公募を別紙のとおり、12 月 1 日から開始しました。

本賞は、物流部門における環境保全の推進や環境意識の高揚等を図り、物流の健全な発展に貢献された団体・企業または個人を表彰し、環境施策の一層の推進を図ることを目的として、平成 12 年に創設され、今回で 10 回目を迎えます。

当連合会のホームページ(<http://www.butsuryu.or.jp>)でも詳しくご案内しておりますので、ご参照ください。また、同ホームページから募集要項と推薦(申請)書を取り出すことができます。

以上

担当:(社)日本物流団体連合会

物流環境大賞事務局 新開

Tel 03-3593-0139

Mail shingai@butsuryu.or.jp

第10回「物流環境大賞」 ～応募のおすすめ～

社団法人日本物流団体連合会では、平成12年6月、物流部門における環境保全の推進や環境意識の高揚等を図り、物流の健全な発展に貢献された団体・企業または個人を表彰する「物流環境大賞」を創設いたしました。

これは、近年、物流分野においても環境との調和がますます重要となっているという現状から、物流部門において、優れた環境保全活動や環境啓蒙活動、あるいは先駆的な技術開発などを行なうことにより、環境負荷軽減の面から物流業の発展に貢献された方々を表彰する制度です。

第10回物流環境大賞の募集要領は、下記のとおりです。皆様の積極的なご応募、ご推薦をお待ち申し上げます。

なお、募集要項と推薦(申請)書は、(社)日本物流団体連合会のホームページ (<http://www.butsuryu.or.jp>) から取り出すことができます。

大賞・部門賞

次のような基準に適合した方を物流環境大賞として表彰いたします。

1. 物流分野において、鉄道及び海運の利用促進並びにトラックの効率的な輸送のためのハード・ソフト両面に亘る環境保全活動を広範囲かつ効果的に実施された方
2. 物流分野に関する優れた環境啓蒙活動を行ない、広く社会的評価を得ている方
3. 物流分野において、環境負荷軽減に資する先駆的な技術開発を行なった方
4. その他、物流分野における環境保全の推進、環境意識の高揚等に貢献した方

物流環境大賞のほか、各項目ごとに物流環境保全活動賞、物流環境啓蒙賞、物流環境負荷軽減技術開発賞、物流環境特別賞を部門賞として表彰することも予定しております。

審査・表彰

- 表彰規定に従って「物流環境大賞選考委員会」(委員長：岡部正彦 日本物流団体連合会会長)で審査を行ないます。
- 平成21年6月に開催される日本物流団体連合会第18回通常総会の席上において表彰致します。

スケジュール

- | | | |
|-------------------------|---------|--------|
| ◆ 平成20年12月 1日(月) 応募受付開始 | ◆ 3月～4月 | 審査期間 |
| ◆ 平成21年 2月27日(金) 応募受付〆切 | ◆ 5月中旬 | 審査結果通知 |
| | ◆ 6月中旬 | 表彰式 |

■お問い合わせ先

社団法人日本物流団体連合会 物流環境大賞事務局
〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関3-3-3 全日通霞ヶ関ビル5階
電話 (03)3593-0139 FAX (03)3593-0138
ホームページ <http://www.butsuryu.or.jp>

第9回(平成20年度)表彰受賞者の概要

1. 物流環境大賞 (2件)

被表彰者：東京電力株式会社／日野自動車株式会社／株式会社デンソー／大崎電気工業株式会社【共同申請】

功績事項：トラックの「外部電源式アイドリングストップ冷暖房システム」の開発・実用化

荷待ち等によりやむを得ずアイドリング状態で待機する必要性のある営業用トラックにおいて、運転席に設置する外部電源式冷暖房装置へ駐車場に設置する給電スタンドから系統電力を直接供給するシステムを開発した。これにより、CO₂排出量を大幅に削減するだけでなく地域住民にとってもアイドリングによる騒音等の解消や、環境負荷物質の低減が可能になった。

被表彰者：トヨタ自動車株式会社／トヨタ輸送株式会社／日本通運株式会社／日本貨物鉄道株式会社【共同申請】

功績事項：TOYOTA LONG PASS EXPRESS による自動車部品輸送

自動車生産用部品の大動脈である愛知～岩手(名古屋南貨物駅～盛岡貨物ターミナル駅)間(約900km)で31ftコンテナを使用した専用列車を2往復運行することで10トントラック160台/日に相当する貨物のモーダルシフトを行った。年間約14,000トンのCO₂排出量削減の効果があり、リードタイムも3.0日から2.25日への短縮を実現した。

2. 物流環境保全活動賞

被表彰者：日本貨物鉄道株式会社

功績事項：鳥栖貨物ターミナル駅開業に伴う高速コンテナ列車(鳥栖号)によるモーダルシフトの推進

3. 物流環境啓蒙賞

被表彰者：日本通運株式会社

功績事項：マニフェスト管理システムの活用による適正化指導および循環型社会形成への社員教育

4. 物流環境負荷軽減技術開発賞

被表彰者：プロロジス

功績事項：大型施設開発におけるPC(プレキャストコンクリート)免震構造採用によるCO₂排出削減への取組

5. 物流環境特別賞 (5件)

被表彰者：シスメックス物流株式会社

功績事項：天然ガス10トントラック(エコトラック)の導入

被表彰者：佐川急便株式会社

功績事項：複合大型ビルや商業施設における館内物流システムの構築による環境負荷の軽減

被表彰者：住電日立ケーブル株式会社／タツタ電線株式会社／大電株式会社【共同申請】

功績事項：パートナーシップによる電線ドラム輸送のJR大型コンテナを利用したの鉄道輸送へのモーダルシフト事業

被表彰者：川崎汽船株式会社

功績事項：伊勢・三河湾内における自動車船減速航行の実施

被表彰者：株式会社住友倉庫

功績事項：大阪・南港に建設する物流施設に太陽光パネルを設置